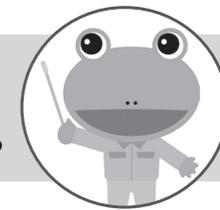


サイクル Information



2026年1月分(2026年1月1日～1月31日)の施設のトラブル情報等を取りまとめて、お知らせします。

災害時の対応能力向上のため、厳冬期における防災訓練を実施しました

当社では、原子力災害への対応力向上のため、年間を通して様々な訓練を繰り返し行っています。

2月19日(木)には、氷点下の中、地震により再処理工場の電源が喪失したことを想定した訓練を実施しました。寒さで手足が思うように動かさずらい中でも迅速かつ的確に対応できるよう、厳冬期の訓練を積み重ねてまいります。

ホイールローダを使用したがれき等の撤去



地震により落下したがれきを当社のホイールローダを使用して取り除き、電源車の走行ルートを確認します

電源車のケーブル敷設およびガスタービン運転



▲工場への電力供給のため、電源ケーブルを敷設します

▶電源車のガスタービンを起動し、工場へ電力を供給します



トラブル等の情報は事象の重大性(A情報→不適合等)に応じて情報区分を定めています。

情報区分		件数
A情報	安全協定報告事象等	1件
B情報	事象の進展又は状況の変化によっては、安全協定報告対象になるおそれのある事象等	0件
C情報	A情報、B情報に該当しない軽度な不具合、漏えい、汚染等、特に連絡を要する事象	0件
運転情報(C情報に至らないごく軽度な機器故障)		0件
清掃や調整で復旧可能な機器停止等		0件
不適合・改善事項		3件

【A情報】

・ウラン濃縮工場：六ヶ所ウラン濃縮工場における生産運転の一部停止(1月24日公表)

【不適合の主な内容】

- ・再処理工場：高レベル廃液ガラス固化建屋(管理区域内)建屋換気設備の運転モード切替時における一時的な正圧(回復済み)
- ・再処理工場：管理区域退域時における不適切な行動
- ・再処理工場：精製建屋(管理区域内)建屋換気設備の運転モード切替時における一時的な正圧および差圧逆転(回復済み)

※不適合とは仕様や機能など所定の要求を満たしていない状態をいいます。

発生した不適合については、原因究明、再発防止を含めた是正処置、水平展開等の検討を行い、重要度に応じて処置方針を決定し再発防止対策等を講じます。処置状況についてはホームページで公表しています。

お問い合わせ先

日本原燃株式会社 地域・広報本部 広報部
〒030-0801 青森県青森市新町二丁目2-11
Tel.017-731-1658 (平日9:00～17:00)
Fax.017-731-1552

日本原燃ホームページはこちら→



ひとりひとり、ひとつひとつ。



日本原燃